

事後評価報告書(日本-デンマーク研究交流)

1. 研究課題名:「2型糖尿病の人種的差異」

2. 研究代表者名:

2-1. 日本側研究代表者: 東京大学 医学部附属病院 教授 門脇 孝

2-2. デンマーク側研究代表者: コペンハーゲン大学 感染症および CMRC 学科
教授 Bente Klarlund Petersen

3. 総合評価: (A)

4. 事後評価結果

(1)研究成果の評価について

人種間の遺伝的差異が存在する日本-デンマーク間で、同一プロトコルによる臨床データを収集・蓄積できたことは高い評価に値する。但し、データの整理と公表が伴って初めて高い評価となるという観点からは、本研究交流の期間内に、共同成果として共著論文として発表できるまでに整理ができなかったのは残念である。しかし論文投稿準備中あるいは投稿中とのことであり、ほぼ公表の段階に達していると思われる。一方、研究終了報告書にある“2型糖尿病の発症における民族を超えた共通の病態基盤が明確に確認された”とする内容は、当該報告書の内容からは判りにくく、説得力に欠けるとされる。

(2)交流成果の評価について

日本-デンマーク間で頻繁な打ち合わせやシンポジウムが行なわれ、人的交流が活発におこなわれた結果、多角的な研究推進に繋がったと思われる。但し、デンマーク側から共同研究を実施するための積極的な日本訪問が少なかったことは残念である。

(3)その他(研究体制、成果の発表、成果の展開等)

国際的な研究交流事業として適切な課題であり、知見の蓄積も揃ってきているので、急いで研究成果を論文化にすることが望まれる。本研究交流を基盤に世界レベルでのコンソーシアムへ発展させることが望まれる。